



フラタナス

新宿区立四谷中学校 学校だより 第3号 平成25年7月16日

第13回大運動会

6月1日(土)、天候が心配される中、生徒の運動会に対しての「やりたい」と

いう熱い気持ち、またあるクラスでは照る照る坊主も出現していました。その甲斐もあって運動会にふさわしい(雲ひとつない)絶好の天気となりました。この天気感謝したいくらいでした。

さて、約3週間という運動会の練習期間でありましたが、その中に3年生は修学旅行、2年生は鎌倉校外学習、1年生は移動教室という各学年の大きな行事がありました。そしてどの学年もその行事をきちんと創りあげ、そして終了させてきました。事前・事後の取り組み期間を考えると、実質二週間くらいの短い運動会の練習期間ではなかったかと思えます。しかし、運動会実行委員長を中心に、この日を目指し猛練習に励んできました。時には、どうしたらうまくいくかと共に考え、実際にやってみようまじくかきずき、そして悩み、また時には信頼関係が危ぶまれるような厳しい状況もあったのではないかと思います。(も



ちろんうまくいって共に喜びこともあったはずですが。)まさしくいろいろなことを乗り越え運動会を迎えたと思います。

この2週間の練習の成果、そして日頃の学習の成果を238名が一致団結し、思いっきり発揮した姿を、実習生も含めた36名の先生方全員で見守りました。

真剣な姿、全力を尽くす姿は美しく、人を感動させるものです。まさしくそのことが言える運動会でした。特に順位が最後になろうともゴールするまで、ピストルが鳴るまで全力で競技している真剣な姿、そしてまさしく238人が一体となったダンスや学年種目など、全力を尽くす姿が美しく感動しました。圧巻だったのは、3年生の大ムカデ競走でした。鳥肌が立つほどの感動を覚えました。競技の成果が得点となって差が出たかもしれませんが、全クラスの得点合計2,277点が四谷中学校の全生徒の持っている総合力だと確信し記憶に留めたいと思います。

校長 東 孝夫



1年女神湖移動教室

5月20日(月)~22日(水)、1年生は、長野

県女神湖高原学園「ヴィレッジ女神湖」に宿泊しながら2泊3日の移動教室に行ってきました。



1日目は、蓼科農ん喜村でほうとう作りと田植え体験を行いました。同じ材料で同じようにして作ったはずなのに、そのほうとうの味は各班

独自の味になりました。田植えでは、素足で田んぼに入ったときのあの泥の感触は忘れられません。田んぼに入るだけで大騒ぎ。

2日目は、車山・八島湿原へのハイキングです。好天の下、山のすがすがしさを十分に味わうことが出来た一日になりました。その日の夜の体験では、繭から絹糸を紡ぎ出し、その糸でランプシェードを作りました。繭から蚕の姿が見え始めると悲鳴が…。繭は蚕が作っていることを実感した瞬間でした。

3日目は、お世話になった宿舎の掃除をし、閉校式へ。閉校式では、学園支配人さんから「間く姿勢が良い。仕事を良くやった。」さらにスキー移動教室への期待を込めて「95点」をもらいました。次回来る2年生では、100点満点をいただけるように成長を誓いました。学園出発後、信州立岩「和紙の里」で和紙をすいて作るうちわ作り体験しました。それぞれのセンス溢れるうちわは3月の学習発表会で披露しますのでぜひ見に来てください。お昼は佐久で有名な「おぎのやの釜めし」を食べ、一路帰校の途につきました。

2年鎌倉校外学習

5月17日(金)、2年生は地域学習の一環とし

て、古都鎌倉へ行ってきました。四ツ谷駅から班ごとに出発し、3年修学旅行の集合場所確認のためにいったん東京駅団体集合場所へ。そこから横須賀線に乗り「いざ鎌倉！」へ。北鎌倉駅または鎌倉駅から、班ごとに事前に計画した班行動計画に沿って、約5時間の鎌倉見学の始まりです。好天の下、建長寺、円覚寺、鶴岡八幡宮、銭洗弁財天、鎌倉大仏の高徳院、長谷寺、小町通りなどなどを徒歩や江ノ電を

3年修学旅行

5月16日(木)~18日(土)、

2泊3日で奈良・京都方面の修学旅行に行ってきました。1日目は、新大阪よりバスで世界文化遺産に登録されている法隆寺へ、世界最古の木造建築を見学後、東大寺大仏殿へバスで移動。大きな大仏様に圧倒されたり、鹿の人なつっこさに驚いたりしながら、いよいよここからは、班行動で京都の宿舎に向かいます。電車の乗り間違いもなく無事に宿舎に到着。食事後、京都ならではの舞妓鑑賞。初めて見る立ち振る舞いの美しさにうっとり、16歳という年齢を聞いてびっくり。

2日目は、京都一日班行動、元気に宿を出発しました。清水寺や三十三間堂、伏見稲荷大社、そして錦市場などを巡る班が多かったです。京都らしいものを見たり食べたりして堪能している班もありましたが、予定通りに回れず、自分たちの計画の甘さに苦労した班もありました。その日の宿は琵琶湖の畔の宿。露天風呂もある大きなお風呂で一日の疲れを洗い流すことができました。

3日目は、嵐山方面の半日班行動です。多くの班が金閣寺を予定に入れていました。お土産と思い出をたくさん持って東京へ帰ります。

3日間、すばらしい天気恵まれ、中学校生活最後の楽しい宿泊行事を大きな事故無く終えることが出来ました。



使って巡ってきました。お昼も事前に調べた鎌倉ならではの美味しいものを選びました。初めての班行動でしたが、鎌倉の街を楽しみ、東京駅団体集合場所を経由して皆無事に四谷の街まで帰ってきました。

今回の班行動は、3年での修学旅行につながるものです。今回の経験を今後活かしていきたいと思います。



記事の見出し



図や写真の説明を記入します。

ここに記載する記事は 370 文字から500 文字程度の長さになります。

ニュースレターを販売促進のツールとして利用する利点は、新聞発表、市場調査報告、各種報告書など別のマーケティング資料から情報を再利用できることです。

ニュースレターの第1の目的は、製品やサービスを売り込むことですが、ニュースレターを成功させるためにはいかに読者の役に立つ情報を提供できるかが鍵となります。

読者の役に立つ情報には、自分の手で記事を書き、イベントの開催予定や新製品の試供品提供などの情報などがあります。

記事の内容を決めるには、インターネットのホームページを利用して探したりすると良いでしょう。いろいろな話題を数多く取り上げる場合は、各記事の内容を簡潔にまとめて短かくするように心がけてください。

ニュースレターに載せる記事は、そのままホームページにすることもできます。Microsoft Publisher には、ニュースレターをホームページに簡単に変換する機能が用意されています。ニュースレターを作成したら、ホームページに変換してみてください。

記事の見出し

ここに記載する記事は 370 文字から500 文字程度の長さになります。

ニュースレターを販売促進のツールとして利用する利点は、新聞発表、市場調査報告、各種報告書など別のマーケティング資料から情報を再利用できることです。

ニュースレターの第1の目的は、製品やサービスを売り込むことですが、ニュースレターを成功させるためにはいかに読者の役に立つ情報を提供できるかが鍵となります。

読者の役に立つ情報には、自分の手で記事を書き、イベントの開催予定や新製品の試供品提供などの情報などがあります。

記事の内容を決めるには、インターネットのホームページを利用して探したりすると良いでしょう。いろいろな話題を数多く取り上げる場合は、各記事の内容を簡潔にまとめて短かくするように心がけてください。

「印象に残るような文章を読者の目を引くよう、記事の中から選びここに記入します。」

記事の見出し



図や写真の説明を記入します。

ここに記載する記事は 370 文字から500 文字程度の長さになります。

ニュースレターを販売促進のツールとして利用する利点は、新聞発表、市場調査報告、各種報告書など別のマーケティング資料から情報を再利用できることです。

ニュースレターの第1の目的は、製品やサービスを売り込むことですが、ニュースレターを成功させるためにはいかに読者の役に立つ情報を提供できるかが鍵となります。

読者の役に立つ情報には、自分の手で記事を書き、イベントの開催予定や新製品の試供品提供などの情報などがあります。

記事の内容を決めるには、インターネットのホームページを利用して探したりすると良いでしょう。いろいろな話題を数多く取り上げる場合は、各記事の内容を簡潔にまとめて短かくするように心がけてください。

記事の見出し

ここに記載する記事は 430 文字から560 文字程度の長さにします。

ニュースレターの目的は、対象読者に特定の情報を提供することにあります。ニュースレターは、製品やサービスを宣伝したり、同僚、会員、従業員、取引先に対して会社をアピールしたり信頼を勝ち取るための道具として適しています。

まず、どのような読者がこのニュースレターを読むか考えてください。読者は、ニュースレターに載せた記事を読むことで利益を得る人です。たとえば、従業員、製品を購入しよ

うと考えている人、サービスを必要としている人などです。

製品やサービスについての問い合わせ、アンケートの回答、名刺、会員リストなどから情報を集めて住所録を作ると良いでしょう。顧客情報を販売してる会社からリストを購入する方法もあります。

どのような読者を対象にするか決めたら、デザインを決めます。Publisher には、いろいろなスタイルを使った各種印刷物のデザインが用意されています。その中から目的に合ったデザインを選んでください。



図や写真の説明を記入します。

記事の見出し

ここに記載する記事は 370 文字から500 文字程度の長さにします。

ニュースレターを販売促進のツールとして利用する利点は、新聞発表、市場調査報告、各種報告書など別のマーケティング資料から情報を再利用できることです。

ニュースレターの第1の目的は、製品やサービスを売り込むことですが、ニュースレターを成功させるためにはいかに読者の役に立つ情報を提供できるかが鍵となります。

読者の役に立つ情報には、自分の手で記事を書き、イベントの開催予定や新製品の試供品提供などの情報などがあります。

記事の内容を決めるには、インターネットのホームページを利用して探したりすると良いでしょう。いろいろな話題を数多く取り上げる場合は、各記事の内容を簡潔にまとめて短かくするように心がけてください。

「印象に残るような文章を読者の目を引くよう、記事の中から選びここに記入します。」

記事の見出し

ここに記載する記事は 370 文字から500 文字程度の長さにします。

ニュースレターを販売促進のツールとして利用する利点は、新聞発表、市場調査報告、各種報告書など別のマーケティング資料から情報を再利用できることです。

ニュースレターの第1の目的は、製品やサービスを売り込むことですが、ニュースレターを

成功させるためにはいかに読者の役に立つ情報を提供できるかが鍵となります。

読者の役に立つ情報には、自分の手で記事を書き、イベントの開催予定や新製品の試供品提供などの情報などがあります。



図や写真の説明を記入します。

ビジネス1の住所
住所2行目

電話 00(5555)5555
FAX 00(5555)5555
Email: someone@example.com



キャッチ コピーを入力します

ホームページもご覧ください。
example.microsoft.com

記事の見出し

ここに記載する記事は 430 文字から560 文字程度の長さになります。

ニュースレターの目的は、対象読者に特定の情報を提供することにあります。ニュースレターは、製品やサービスを宣伝したり、同僚、会員、従業員、取引先に対して会社をアピールしたり信頼を勝ち取るための道具として適しています。

まず、どのような読者がこのニュースレターを読むか考えてください。読者は、ニュースレターに載せた記事を読むことで利益を得る人です。たとえば、従業員、製品を購入しようと考えている人、サービスを必要としている人などです。

製品やサービスについての問い合わせ、アンケートの回答、名刺、会員リストなどから情報を集めて住所録を作ると良いでしょう。顧客情報を販売している会社からリストを購入する方法もあります。

どのような読者を対象にするか決めたら、デザインを決めます。Publisher には、いろいろなスタイルを使った各種印刷物のデザインが用意されています。その中から目的に合ったデザインを選んでください。

ここに記載する記事は 370 文字から500 文字程度の長さになります。

ニュースレターを販売促進のツールとして利用する利点は、新聞発表、市場調査報告、各種報告書など別のマーケティング資料から情報を再利用できることです。

ニュースレターの第1の目的は、製品やサービスを売り込むことですが、ニュースレターを成功させるためにはいかに読者の役に立つ情報を提供できるかが鍵となります。

次に、ニュースレターにどれだけ時間と費用をかけるか決めます。かけられる時間と費用によってニュースレターを発行する回数や記事の分量もある程度決まります。読者に定期的に発行されるニュースレターだということが分かるよう、少なくとも年4回発行することをお勧めします。ここに記載する記事は 180 文字から300 文字程度の長さになります。

見出しはニュースレターの重要な部分です。見出しにどのような表現を使うかは特に注意して決めてください。語数をおさえ、かつ記事の内容がはっきり分かり読者の注意を引くような表現にします。記事の内容を書く前に見出しを決めておくと、焦点をはっきりさせて記事をまとめる役に立ちます。



図や写真の説明を記入します。